

# U.S. Indicators

マクロ経済指標レポート

## 米国 フィラデルフィア連銀管轄地区製造業部門の拡大ペース小幅鈍化 (05年11月フィラデルフィア連銀製造業景況指数)

発表日：05年11月17日(木)

～トレンドは緩やかな拡大傾向を示唆～

(No. UI - 151)

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : [seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp](mailto:seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp))

フィラデルフィア連銀製造業景況指数

	現状 総合	新規受注	出荷	在庫	雇用	出荷遅延	受注残	販売価格	仕入れ価格	交易条件	6ヵ月先見直し 総合
04/11	19.7	20.8	21.4	4.2	15.4	2.9	1.8	30.3	55.4	25.1	47.9
04/12	25.4	20.9	25.6	4.5	14.0	1.1	3.0	21.1	53.8	32.7	39.0
05/01	13.2	9.8	15.9	2.7	17.0	3.2	5.2	24.7	66.1	41.4	25.5
05/02	23.9	11.7	23.8	7.4	12.3	7.1	2.8	24.6	43.5	18.9	26.5
05/03	11.4	13.2	14.7	5.3	10.1	3.5	2.1	15.3	29.7	14.4	29.8
05/04	25.3	20.3	29.4	3.4	16.8	5.1	3.8	28.0	50.5	22.5	27.5
05/05	7.3	15.0	14.9	2.0	5.4	0.5	0.1	15.7	30.9	15.2	22.3
05/06	2.2	2.5	6.6	0.4	7.1	13.2	19.0	8.1	23.5	15.4	30.6
05/07	9.6	5.0	12.4	10.9	3.4	1.9	9.2	12.0	26.5	14.5	15.3
05/08	17.5	19.8	17.8	7.3	6.3	0.9	7.2	3.0	25.9	22.9	33.4
05/09	2.2	0.5	13.2	1.4	2.7	2.4	10.9	8.6	52.7	44.1	7.0
05/10	17.3	18.6	19.5	4.5	17.0	9.6	0.8	32.6	67.6	35.0	22.0
05/11	11.5	12.7	23.4	0.1	19.1	9.0	7.8	32.5	56.8	24.3	29.2

(出所)フィラデルフィア連銀

### 11.5 と前月から 5.8 ポイント低下

05年11月のフィラデルフィア連銀製造業景況指数(フィラデルフィア連銀管轄地区の製造業、ゼロが拡大縮小の分岐点)は+11.5と前月から5.8ポイント低下し市場予想の+15.5を下回った。もっとも、拡大縮小の分岐点であるゼロを大幅に上回っていること、さらに半年後の景況感を示す指数が上昇していることから、11月の同地区製造業部門の業況は良好な状態が続いていると判断される。また、この統計は月次での変動が大きい統計であるため3ヵ月移動平均をみる必要があるが、同ベースでの総合指数では、同地区製造業部門が緩やかな拡大基調が持続していることが示されている(2Pグラフ参照)。

### 目先雇用の拡大を 示唆

個別にみると、新規受注、受注残のプラス幅、在庫のマイナス幅が縮小していることから、目先同地区の生産拡大ペースは緩やかなものにとどまると予想される。インフレ面では、仕入れ価格の水準が高いものの前月から低下しておりインフレ圧力は若干緩和の方向に向かっている。一方で、販売価格は前月とほぼ変わらずとなっていることから、交易条件は前月から大幅に改善しており、企業の収益性は向上している。このような中、雇用指数が+19.1と上昇したことから、同地区製造業雇用の拡大が示唆されている。

### 現状に先行する半年 後の景況感に対する 楽観的な見方が強ま った

先行きに関する調査では、半年後の景況感を示す指数が+29.2と10月の+22.0から上昇しており、企業の楽観的な見方が強まっている。

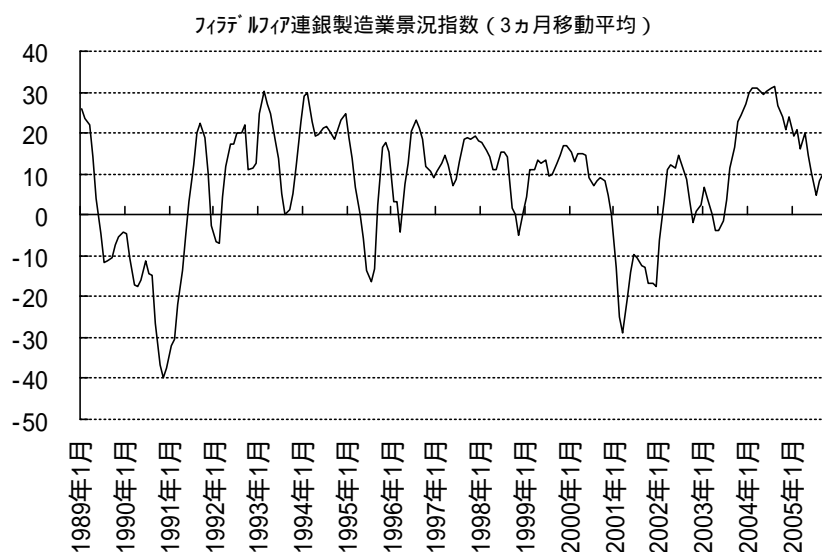
半年後の収益環境では、「仕入れ価格が上昇するとの見方の割合」が低下しているが、それ以上に「販売価格が上昇するとの見方の割合」が低下しており、交易条件の悪化が

予想されている。このような見通しのもと、在庫のマイナス幅がほとんど変わらず引き続きコスト削減のために在庫の抑制を続ける姿勢が示された。一方、半年後の労働時間が+11.8、雇用が+12.3とプラス幅を拡大していることから、今後雇用・所得環境の改善が期待できる。以上のように、投入コストの上昇圧力が強い状況が想定されており、今後も企業はコスト削減を在庫の抑制で進めるとみられ、投資の拡大が期待できる。実際、半年後の設備投資見通しが+24.2と10月の+18.1から上昇していることから、同地区製造業の設備投資の拡大持続が示唆されている。

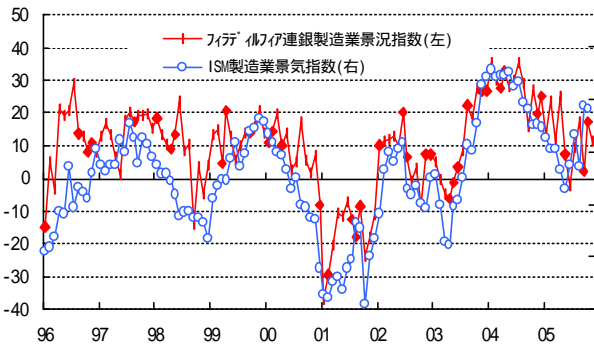
先行きに関しては、交易条件の悪化が予想され、在庫の削減が続く一方、受注・出荷のプラス幅拡大、労働時間の拡大が見込まれており、先行きに対する楽観的な見方が強まった。

### ISM 製造業景気指数は前月から小幅低下の可能性

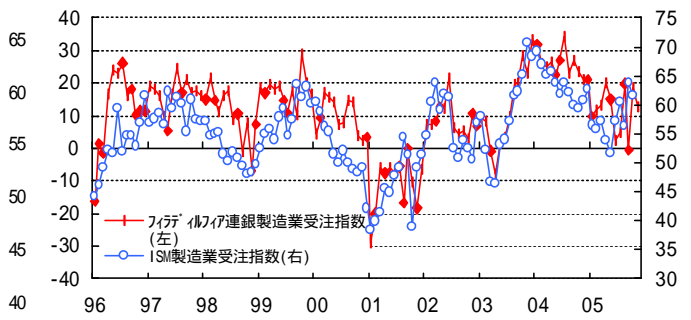
この指数は、ペンシルベニア州東部、デラウェア州、ニュージャージー州南部の製造業の景況感を表す指標であるが、全国の製造業の景況感を示すISM製造業景気指数と似た動きをすることが多い。11月にNY連銀製造業景況指数(エンパイア・ステート景況指数)が大幅に上昇したもののフィラデルフィア連銀製造業景況指数が低下したことから、11月のISM製造業景気指数は10月の59.1から58.5程度への小幅低下が見込まれる。



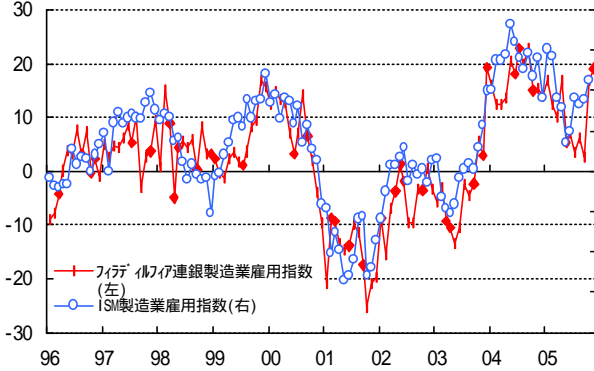
フィデリアルフィア連銀製造業景況指数とISM製造業景況指数の推移



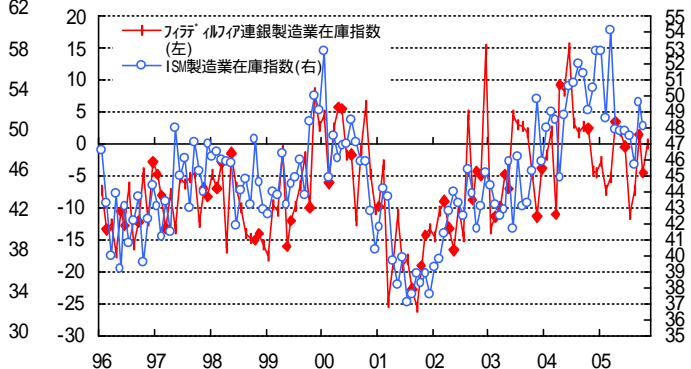
フィデリアルフィア連銀製造業受注指数とISM製造業受注指数の推移



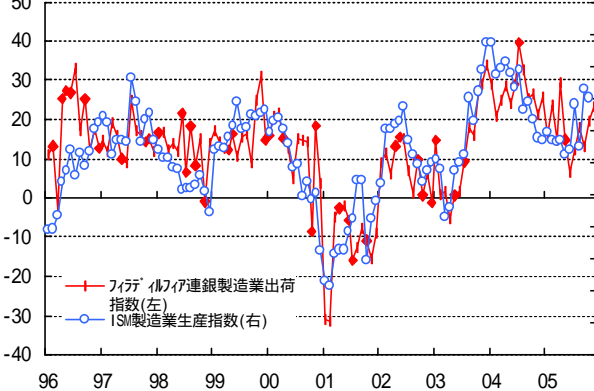
フィデリアルフィア連銀製造業雇用指数とISM製造業雇用指数の推移



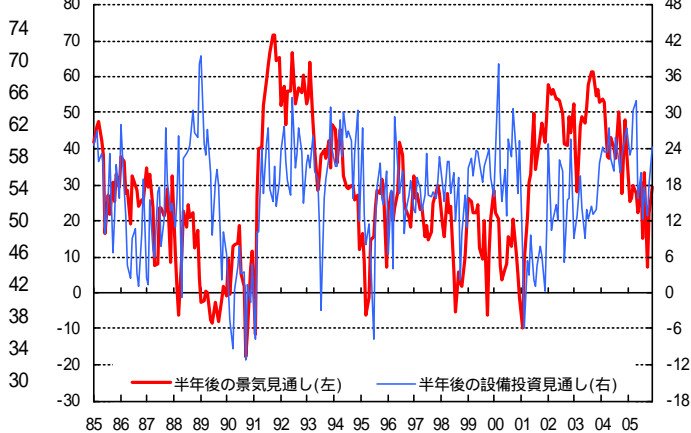
フィデリアルフィア連銀製造業在庫指数とISM製造業在庫指数の推移



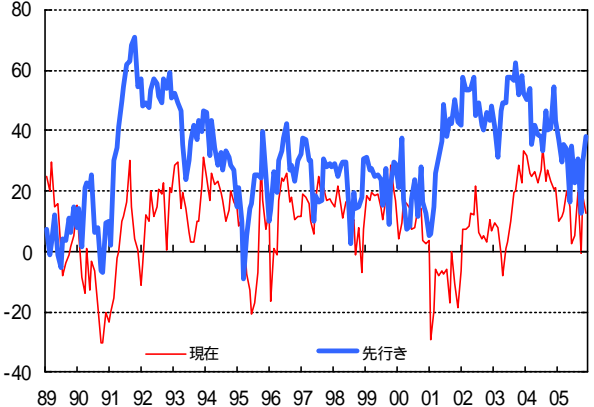
フィデリアルフィア連銀製造業出荷指数とISM製造業生産指数の推移



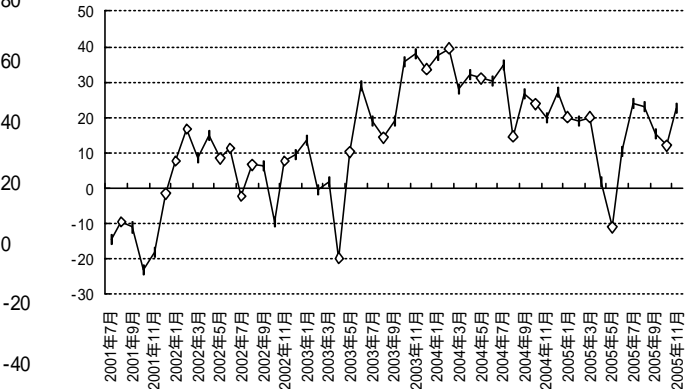
半年後の景気、設備投資見通しの推移



現在と先行きの新規受注の推移



NY連銀製造業景況指数の推移



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

